

神奈川県立博物館発掘調査報告書

第 6 号

間口洞窟遺跡

資料編

A REPORT ON THE ARCHAEOLOGICAL EXCAVATIONS
BY KANAGAWA PREFECTURAL MUSEUM

No. 6

MAKUCHI CAVE (1)

PLATE

神奈川県立博物館
KANAGAWA PREFECTURAL MUSEUM
Naka-ku Yokohama, Japan

1972

序

当館では、考古部門における地域研究ならびに資料収集の一環として、遺跡の発掘調査を行なっております。

間口洞窟遺跡の調査はその一部で、昭和46年3月に第1次調査を、次いで8月に第2次調査を実施し、幸い、予想以上の良好な結果と多数の資料を得ることができました。

第1次ならびに第2次調査の報告は、発掘地点が重複する関係上、一括して本編と資料編にわけ、今回は資料編といたしました。

刊行にあたり、調査に格別のご協力を賜った京浜急行電鉄株式会社、京急興業株式会社、三浦市教育委員会教育長・三好新次氏、三浦市文化財保護委員・浜田勲太氏、横須賀考古学会、各大学考古学専攻学生および地元の方々に厚くお礼申し上げます。

昭和47年3月

神奈川県立博物館長

齊藤太次郎

資料編目次

資料編収録遺物表	p. 1
附位説明図	p. 5

図版 1	(1)	間口洞窟遺跡の位置	
	(2)	洞窟の外観	
図版 2		発掘区断面 (I--II区)	
図版 3	(1)	発掘区断面 (0—I区)	
	(2)	混貝灰層の状態	
図版 4	(1)	1号墳 墓<I区3層>	
	(2)	2号墳 墓<I区7~8層上形>	
		・ 5号墳 墓<I区8~10層>	
図版 5	(1)	3号墳 墓<I区7~8層>	
	(2)	4号墳 墓<I区8層>	
図版 6	(1)	灼骨 1 出土状態 (I区5号墳墓礎土下部)	
	(2)	灼骨 3・4 出土状態 (I区4号墳墓礎土上層)	
図版 7	(1)	貝形角器18出土状態 (I区6層下部)	
	(2)	貝形角器22出土状態 (I区4号墳墓礎土上層)	
図版 8	(1)	鈎針形角器16出土状態 (I区10層)	
	(2)	離頭鉤形角器14出土状態 (I区8層)	
図版 9	(1)	鐵形器具23出土状態 (I区8層)	
	(2)	鐵形器具24出土状態 (I区8層)	
図版 10	(1)	庖丁形貝器35出土状態 (I区8層)	
	(2)	鐵形石器45出土状態 (I区8層)	
図版 11	均	骨——1・2	
図版 12	灼	甲——3	
図版 13	灼	甲——4	
図版 14	骨	角器	
		針形骨器	——5・6
		鎌形骨器	——7
		鎌形角器	——8
		鉤形角器	——9・11・12・13
		尖頭形角器	——10

図版 15	骨角器	離頭形角器—14・15 鈎針形角器—16 異形角器—17・18・19・20・21 遠形角器—22
図版 16	貝器	筆形貝器—23・24 搔器形貝器—25・26・27・28
図版 17	貝器	庖丁形貝器—29・30・31・32
図版 18	貝器	庖丁形貝器—33・34・35・36
図版 19	貝器	庖丁形貝器—37 三角形貝器—39 指輪形貝器—40 貝器破片—38・41 錐形土製品—42・43 鉄器破片—44
図版 20	石器	鍬形石器—45 搔器形石器—46 礫器—47・48・49・50・51・52 使用痕のある礫—53
図版 21	土器	土師式土器—54・55・56・57
図版 22	土器	土師式土器破片—58~73
図版 23	土器	弥生式土器破片—74~88
図版 24	土器	弥生式土器破片—89~110

調査主催者.....神奈川県立博物館長 齊藤 大次郎

調査期日.....第1次調査・昭和46年3月11日~17日

第2次調査・昭和46年8月17日~30日

発掘担当者.....奈良県立博物館主任学芸員 神沢 勇一

報告書執筆.....

〃

〃

凡 例

1. 資料編では、第1次調査・第2次調査における遺跡の状態、遺構、遺物のうち、主要なものを収録した。
2. 遺物番号は、本文編と共通で、資料名の前にゴシック体の数字で表示した。
3. 遺物の縮尺は、特に縮尺または寸法を表示したものを除き、4分の3である。
4. 「資料編収録遺物表」寸法欄の記載のうち、() 付けの数字は、破片または欠損部分の現存寸法である。
5. 遺構名の末尾にある< >付けの層位名は、存在位置または掘込んでいる層を示す。

資料編収録遺物表

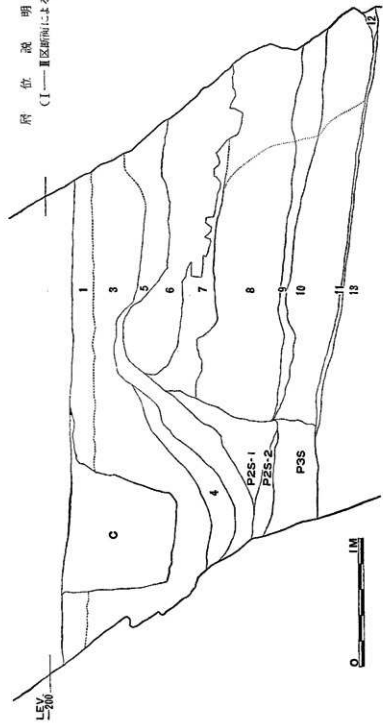
図版	番号	種類	寸法	出土層位	備考	
11	1	灼骨	(122)×(61)×(24) ^{mm}	I区 5号墳基覆土下部	シカの肩胛骨を使用。	
	2	灼骨	(33)×12×3	I区 8層	シカの肋骨を使用。	
12	3	灼甲	(119)×45×4	I区 4号墳基覆土上面	アカウミガメの甲羅を使用。	
13	4	灼甲	(111)×(43)×(35)	I区 4号墳基覆土上面	アカウミガメの甲羅を使用。	
14	5	針形骨器	194×8×4	I区 8層		
	6	針形骨器	142×6×5	I区 8層		
	7	鎌形骨器	115×7×4	I区 8層		
	8	鎌形角器	93.5×10×7	I区 8層		
	9	鋸形角器	(93)×10×8	I区 8層	破片	
	10	尖頭形角器	100×28×23	I区 8層	木製品の残骸もある。	
	11	鋸形角器	(40)×(19)×(10)	I区 C(左地擾乱部分)	破片	
	12	鋸形角器	(68)×(20)×(9)	I区 8層	破片(基部)	
	13	鋸形角器	(115)×25×12	I区 C(左地擾乱部分)	破片	
	15	14	隆頭鋸形角器	67×13×14	I区 8層	穿孔 (両側より行なう) 2 径 4.5×5mm 径 6×7mm
		15	隆頭鋸形角器	(50)×(22)×(9.5)	I区 8層	破片 穿孔(現存) 1 径 5×5mm(推定)

図版	番号	種類	寸法	出土層位	備考
15	16	釣針形角器	86 × 22 × 5 ^{mm}	I区 10層	
	17	異形角器	86 × 33 × 24	I区 8層	
	18	異形角器	84 × 21 × 9	I区 6層下部	3号墳墓に伴うものと 考えられる。
	19	異形角器	42 × 11 × 16.5	I区 8層上面	3号墳墓に伴うものと 考えられる。
	20	異形角器	37 × 13 × 8.5	I区 8層	
	21	異形角器	44 × 12.5 × 10	I区 2号墳墓覆土?	
	22	筥形角器	136 × 17 × 4.5	I区 4号墳墓覆土	4号墳墓副葬品
16	23	鍬形貝器	48 × 19.5 × 2	I区 8層	アワビ製 穿孔1 径3 × 5mm
	24	鍬形貝器	60 × 32 × 2	I区 8層下端	アワビ製 穿孔1 径4 × 4mm
	25	搔器形貝器(貝刃)	67 × 56 × 19	I区 10層	
	26	搔器形貝器(貝刃)	49 × 33 × 16	I区 8層下端	
	27	搔器形貝器(貝刃)	64 × 50 × 18	I区 8層下端	
	28	搔器形貝器(貝刃)	74 × 64 × 21	I区 8層	刃先に右向き擦痕と 磨滅がある。
17	29	庖丁形貝器 (貝庖丁)	119 × 31 × 3	I区 8層	穿孔2 径3 × 3mm 径6 × 4.5mm
	30	庖丁形貝器 (貝庖丁)	(88) × 44 × 7	I区 8層	穿孔(現存)1 径6 × 6mm
	31	庖丁形貝器 (貝庖丁)	103 × 47 × 8	I区 8層	

図版	番号	種類	寸法	出土層位	備考
17	32	庖丁形貝器 (貝庖丁)	136 × 56 × 6 ^{mm}	I区 8層	
18	33	庖丁形貝器 (貝庖丁)	(80) × 38 × 5	I区 9層	穿孔2 径 1.8 × 9mm 径 2.6 × 7mm
	34	庖丁形貝器 (貝庖丁)	(65) × 38 × 5	I区 8層	穿孔(現存)1 径 7 × 7mm
	35	庖丁形貝器 (貝庖丁)	(63) × (42) × (7)	I区 10層	穿孔(現存)1 径 6 × 6mm
	36	庖丁形貝器 (貝庖丁)	(66) × (46) × 6	I区 9層	内面の先端に溝状の切 削の痕跡をのこす。幅 約2mm 穿孔(現存)1 径 7 × 7mm
19	37	庖丁形貝器 (貝庖丁)	112 × 66 × 23	I区 8層	対先の先端が著しく磨 減。
	38	貝器破片	26 × 63 × 3	I区 10層	幅2~3mmの窄った割罫 が両側に行なわれている。
	39	三角形貝器	28 × 14 × 3	I区 10層	
	40	指輪形貝器	36 × 29 × 5	I区 8層	
	41	貝器破片	(93) × (85) × (19)	I区 8層	幅3~4mmの割罫が片側 に行なわれている。
	42	鍾形土製品	26 × 26 × 22	I区 浮土	穿孔径 7 × 7mm
	43	鍾形土製品	26 × 26 × 39	I区 C(左壁残存部分)	穿孔径 6 × 6mm
	44	鉄器破片	(84) × (33) × (8)	I区 4号墳巻履土	4号墳埋藏品。
20	45	鎌形石器 (解装石鏃)	(35) × (25) × 4	I区 8層	穿孔1 径 4 × 4mm (推定)
	46	搔器形石器	40 × 23 × 8	I区 10層	片面は自然面。
	47	鏃	110 × 45 × 68	I区 10層	

図版	番号	種類	寸法	出土層位	備考
20	48	硨器	98 × 75 × 24	I区 11層	約1.3m離れて存在した破片を接合。 両対。
	49	硨器	96 × 60 × 20	I区 8層	両対。
	50	硨器	87 × 57 × 24	I区 10層	
	51	硨器破片	(40) × 93 × (19)	I区 11層	
	52	硨器	56 × 36 × 14	I区 10層	
	53	使用痕のある石	88.5 × 74 × 32	I区 11層	使用による損耗が両面にある。
21	54	土師式土器 (環形土器)	133 × 35	I区 6層下部	
	55	土師式土器 (環形土器)	129 × 46	I区 3号墳墓敷石面	3号墳墓副葬品。
	56	土師式土器 (環形土器)	132 × 45	I区 3号墳墓敷石面	3号墳墓副葬品。
	57	土師式土器 (環形土器)	141 × 42	I区 3号墳墓敷石面	3号墳墓副葬品。
22	58 / 73	土師式土器破片			
23	74 / 88	弥生式土器破片			
24	89 / 110	弥生式土器破片			

層位説明図
(I—II区断面による)

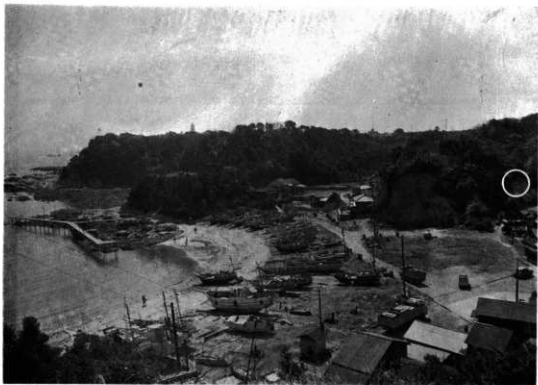


- 1.....1層 (赤土)
- 2.....2層 (黒い砂層)
- 3.....3層 (赤砂層)
- 4.....4層 (赤褐色粘土層)
- 5.....5層 (第1灰層)
- 6.....6層 (砂層)
- 7.....7層 (第2灰層)
- 8.....8層 (第1赤土層)
- 9.....9層 (赤褐色砂層)
- 10.....10層 (第2赤土層)

- 11.....11層 (黄褐色泥状土層)
- 12.....12層 (褐色粘土質土層)
- 13.....13層 (黄褐色ローム質土層)

- C.....埋没部分
- P2S-1.....2号ピット覆土
- P2S-2.....2号ピット覆土
- P3S.....3号ピット覆土

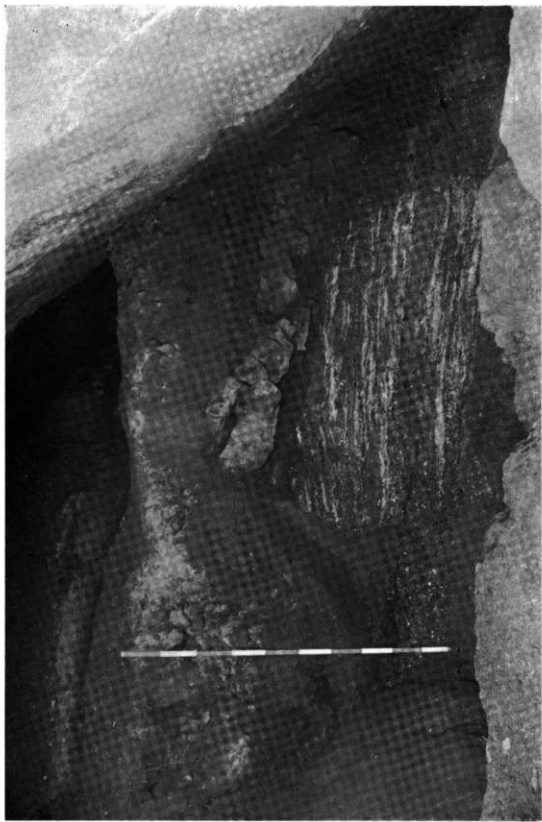
* 層位はI—II区断面図により表示したが、I区内に存在した次の層と層間は、表われていない。
 2層 (黒い砂層)、0号墳基 (鎌倉時代墳墓)、1号墳基、2号墳基、3号墳基、4号墳基、5号墳基、1号ピット。
 *「ピット」は、性格不明の落ち込みだけを指している。



(1) 間口河窟遺跡の位置



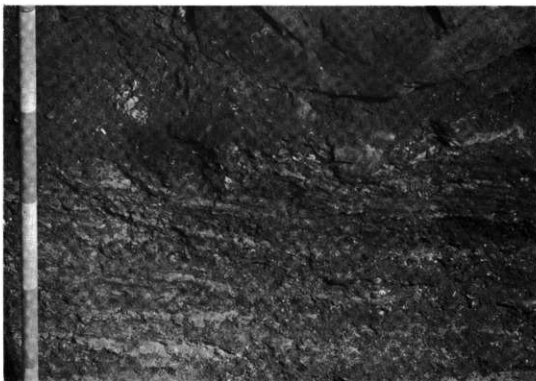
(2) 河窟の外観



兔嶺區断面 (I—II區断面)



(1) 発掘区断面 (0-100)



(2) 混具灰層の状態



(1) 1号墳墓<I区3層>



(2) 2号墳墓<I区7~8層上部>・5号墳墓<I区8~10層>



(1) 3号墳墓<I区7~8層>



(2) 4号墳墓<I区8層>



(1) 灼骨 1 出土状态 (I区 5号墳基覆土下部)



(2) 灼甲 3・4 出土状态 (I区 4号墳基覆土上面)



(1) 异形角器 18 出土状态 (I 区 6 层下部)



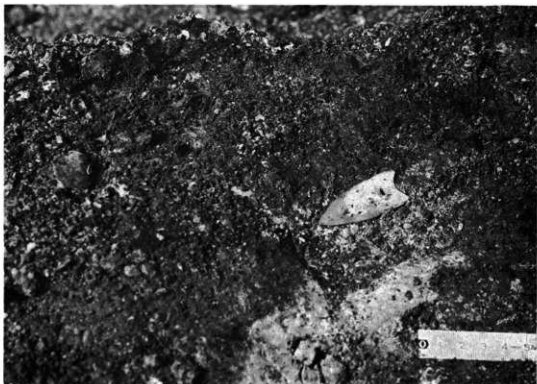
(2) 矩形角器 22 出土状态 (I 区 4 号墳墓覆土)



(1) 钩针形角器 16 出土状态 (I 区 10 层)



(2) 钩针形角器 14 出土状态 (I 区 8 层)



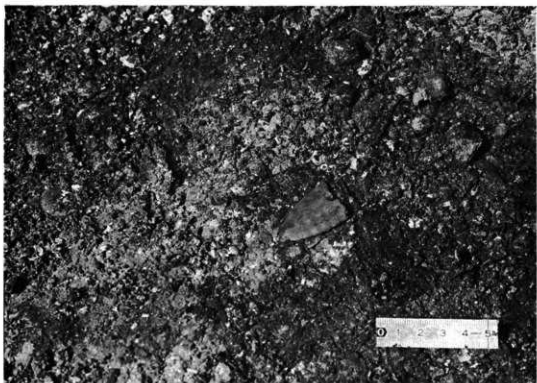
(1) 鐵形貝器 23 出土狀態 (I 区 8 層)



(2) 鐵形貝器 24 出土狀態 (I 区 8 層)



(1) 磨丁形石器 35 出土状态 (I 区 8 层)



(2) 嵌形石器 45 出土状态 (I 区 8 层)



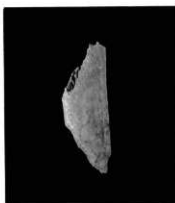
1 灼骨 (表面) $\frac{1}{1}$



(裏面)



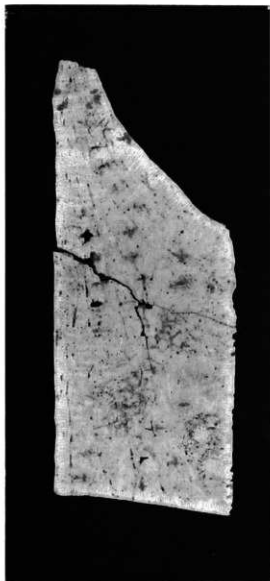
2 灼骨 (表面)



(裏面)



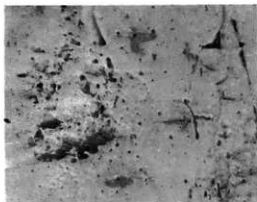
(部分拡大) 灼骨 $\frac{1}{1}$



3. 灼甲 (表面) $\frac{1}{1}$



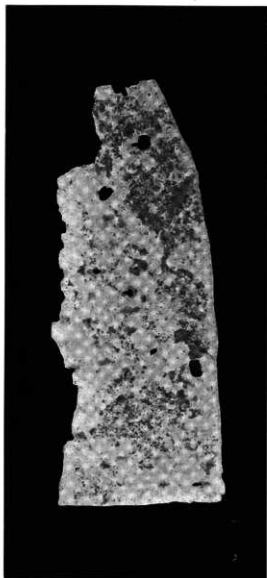
(裏面)



(表面部分拡大) 約 $\frac{2}{1}$



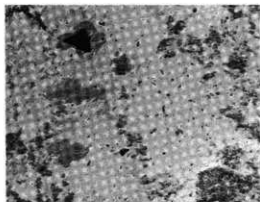
(裏面部分拡大)



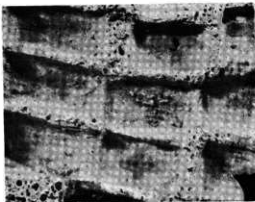
4 龟甲(表面) $1/1$



(背面)



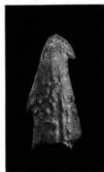
(表面部分放大) 约 $1.6/1$



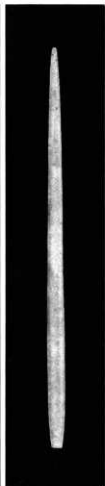
(背面部分放大)



5 針形骨器



11 鈎形角器



6 針形骨器



12 鈎形角器



7 鈎形骨器



8 鈎形角器



9 鈎形角器



13 鈎形角器



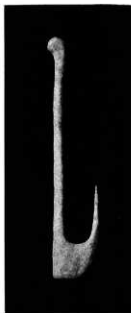
10 尖頭形角器



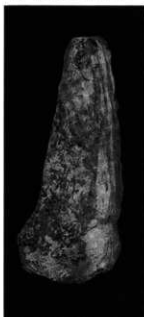
14 離頭鈎形角器



15 離頭鈎形角器



16 鈎針形角器



17 異形角器



18 異形角器



19 異形角器



20 異形骨器



21 異形角器



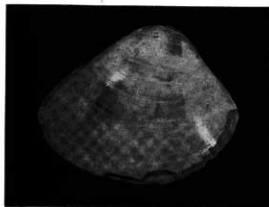
22 錐形角器



23 鐵形貝器



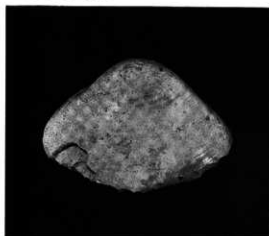
24 鐵形貝器



25 螺器形貝器



26 螺器形貝器



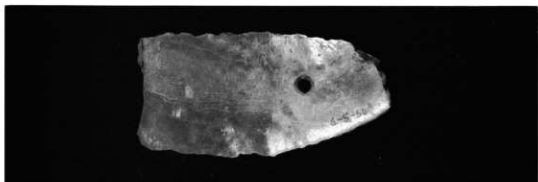
27 螺器形貝器・部分拡大



28 螺器形貝器・部分拡大



29 鹿丁形貝器



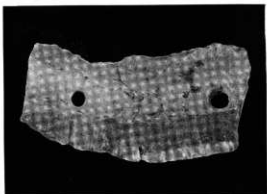
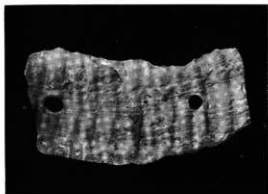
30 鹿丁形貝器



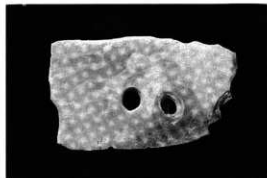
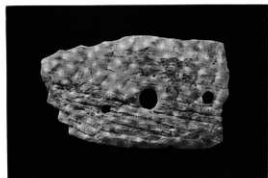
31 鹿丁形貝器



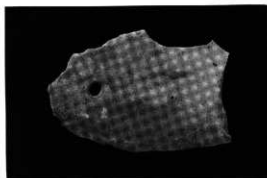
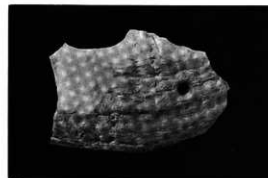
32 鹿丁形貝器



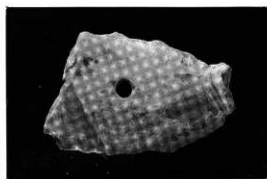
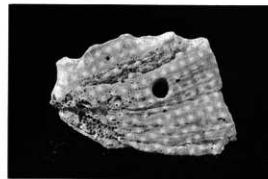
33 庖丁形貝器



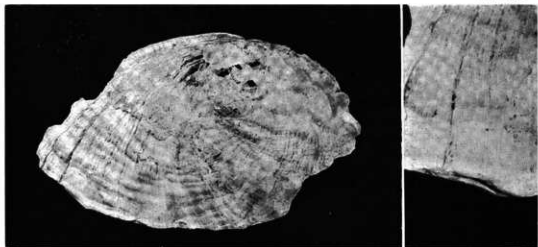
34 庖丁形貝器



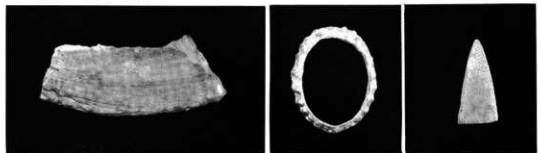
35 庖丁形貝器



36 庖丁形貝器



37 庖丁形貝器・部分



36 貝器破片

40 指輪形貝器

39 三角形貝器



41 貝器破片



42 鐘形土製品

43 鐘形土製品

44 鉄器破片



45

(1/1)



46

(1/1)



47



48



50



49



52



51



53

石 器

45 鎌形石器

46 撻器形石器

47・48・49・50・51・52 礮器

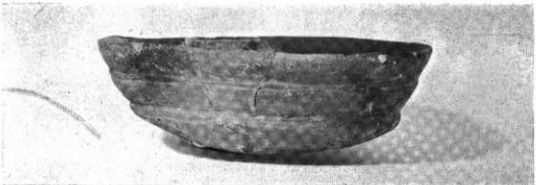
53 使用痕のある石



54 坏形土器 直径 133mm



55 坏形土器 直径 129mm



56 坏形土器 直径 132mm



57 坏形土器 直径 141mm



58



59



60



61



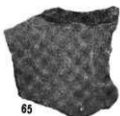
62



63



64



65



66



68



69



67



70



71



72



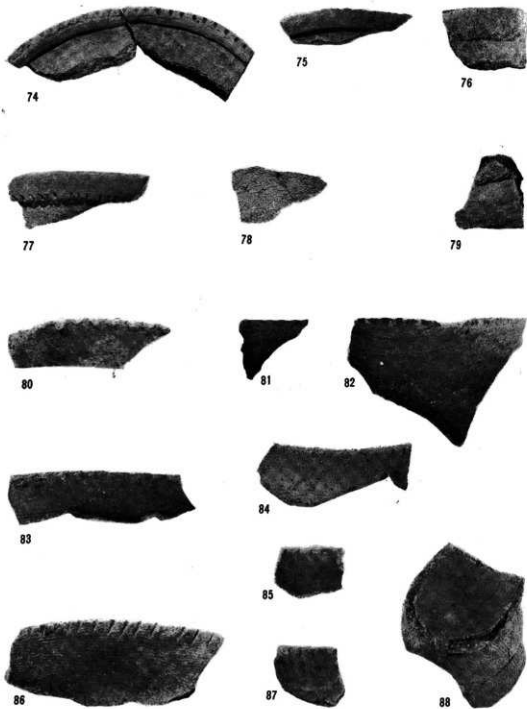
73

土師式土器
(¹/₂)

58・62・63・64・65・66・67
59・60・61・68・69・70・71
72・73 脚(器形不明)

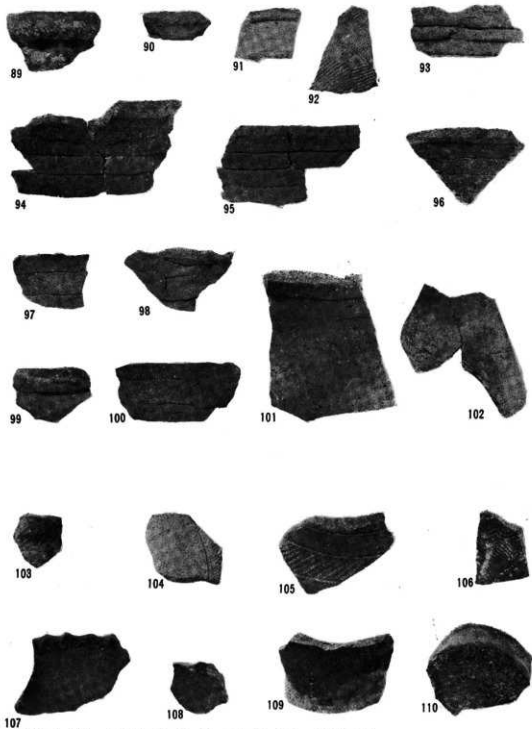
壺形土器
鉢形土器

出土層位 2層……58・72 5層……63・64・66 7層……60・61・68~71・73
1号ピット覆土……59・62・65・67



弥生式土器 74・75・76・77・78・79 壺形土器
 (1/2) 80・81・82・83・84・85・86・87・88 鉢形土器

出土層位 5層下端, 2号ピット覆土-1, 2号墳基覆土……76・77・78・83・84・85・87・88
 8層……74・75・79・80・81・82・80



弥生式土器 89・90・91・92・103・104・105・106 壺形土器
 (1/2) 93・94・95・96・97・98・99・100・101・102・107・108・109・110 鉢形土器

出土層位 8層……………89~102

10層……………103~110

昭和47年3月25日 印刷
昭和47年3月31日 発行

編纂者 齊藤太次郎
兼発行者

発行所 神奈川県横浜市中区南外通5-60
神奈川県立博物館

印刷所 白秀堂印刷所